

人の暮らしや幸せをつくる仕事

福祉の現場で働く職員さんに、福祉で働く魅力を伺いました

現場の
職員さん
の声

01 地域で支えて、みんないい顔！

大好きな祖母と過ごした時間が、私を福祉の仕事へ進ませてくれました。施設に入る前の生活にできる限り近づこうサポートし、利用者さんの普段どおりの暮らしをつくりたい。そんな思いで一日を丁寧に過ごすよう心がけています。

今後の目標は、コロナで中止になっていた夏祭りを復活＆開催することです。とてもいいんですよ、このお祭り！地域の方々が施設に出向き、ボランティアとして屋台や盆踊りを盛り上げてくださったり、地域子どもたちが施設内で入居の利用者さんと楽しそうに遊んだり。同じ地域住民として、同じ時間を過ごすことができるので、利用者さんの表情もどんどんよくなる貴重な一日。このような機会をもっと増やしていきたいですね。

ケアワーカー 地村 紗耶さん



02 今日の支援は、未来のために

もともと自衛隊員だった私が、福祉の仕事を選んだ理由。それは、結婚そして育児の経験から、子どもたちの未来がより暮らしやすいものになるよう、誰かの役に立ちたいと考えたからです。

私は現在、障害者支援施設で、生活支援員として働いています。利用者さんの日中活動、着替え、食事、入浴などのできない部分のお手伝いといった生活のサポートを行っています。言葉で気持ちを伝えることが難しい方が多いので、表情の変化やしぐさで思いをくみ取れるよう、繊細なコミュニケーションがとても大切。そして、3年後、5年後の利用者さんの姿を考え、そこに向かって今日の支援で何ができるかを考えるんです。難しいけど、本当にやりがいのある毎日です。

生活支援員 山本 美穂さん

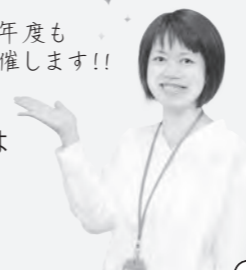


～介護と福祉の就職フェア～

とき 令和5年3月12日(日)

ところ 安曇川公民館

年齢や資格は問いません。
介護や福祉の仕事に興味のある方は
お気軽にご参加ください。
皆さんの参加をお待ちしています！

本年度も
開催します!!

特集2

11月11日は介護の日

“いい日、いい日、毎日あったか介護ありがとう”

☎ 長寿介護課 ☎ (25) 8029



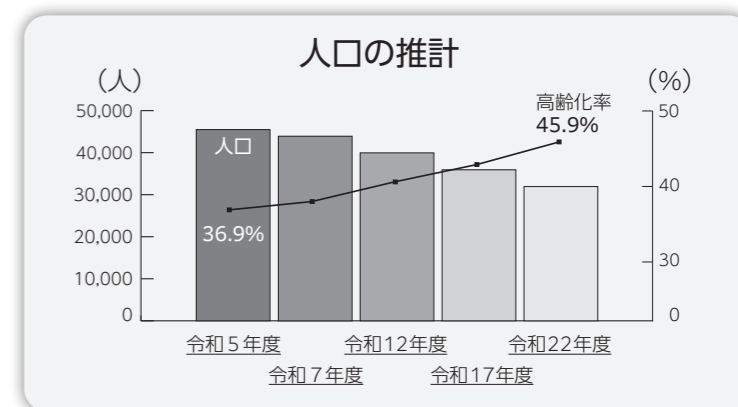
厚生労働省は、介護への理解を深め、介護従事者や利用者およびその家族を支援するとともに、これらを取り巻く地域社会の支え合いや交流を促進する観点から、11月11日を“介護の日”としました。



介護の現場では“あなた”の力を必要としています！

全国的に高齢化が進み、日本の高齢者人口のピークは、令和24年とされていますが、市では令和4年がピークとなっており、全国より20年も早いスピードで高齢化が進んでいます。

現在、高齢化率も36%を超え、今後さらに高齢化が進む中、介護分野では深刻な人材の不足によって、ますます介護職のニーズが高まっています。



資料：高島市高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画（参考）

介護職として働く皆さんを応援します！

介護の職員の皆さんを支援するため、各種の助成事業を実施しています。

【助成事業】

- 子育て応援助成事業
学童保育基本利用料の2分の1（月額上限額6千円）
- 家賃助成事業
勤務先の住居手当を差し引いた借家の家賃額の2分の1（対象：市外から転入した方 月額上限額2万円・助成期間2年）
- 奨学金助成事業
高校・大学・専門学校在学中の奨学金返済月額の2分の1（年間上限額6万円・助成期間2年）

【助成金交付要件】

- ▼対象期間
令和4年4月1日（金）
～令和5年3月31日（金）
- ▼対象者
市内の介護サービス事業所等に正規雇用職員として3か月以上勤務する介護職員等で、翌年度も同様の雇用形態で働く方

【申請受付期間】

令和5年4月3日（月）～10日（月）

雇用する法人も応援します！

介護職員の新規採用や資格取得、外国人人材の雇用促進のため、法人への助成も行っています。

- 新規介護職員等雇用促進助成事業
- 介護支援専門員定着支援助成事業
- 外国人介護職員就労助成事業



詳しい内容は、市のホームページをご覧ください。